

概 況

平成24年7～9月期の出荷数量は、前年同期に比べ、土木向けは3期ぶりに減少、建築向けは8期連続で増加し、14,165.8千^m、前年同期比1.3%の増加となった。

1．需要先別の動向

土木向けは5,148.6千^m、前年同期比 0.2%の減少となった。このうち鉄道・電力向けは466.7千^m、27.2%、道路向けが1,335.5千^m、同 7.3%の減少となった。港湾・空港向けは646,9千^m、同35.4%、その他向けは2,699.5千^m、同3.8%の増加となった。

建築向けは9,017.2千^m、同2.2%と8期連続の増加となった。このうち住宅向けのみが4,332.9千^m、同 2.0%と減少したものの、官公需向けは1,411.9千^m、同5.9%の増加、非住宅向けも3,272.3千^m、同6.6%の増加となった。

2．地域別の動向

経済産業局(沖縄は内閣府沖縄総合事務局)別にみると、北海道は851.8千^m、前年同期比 6.5%の減少。このうち土木向けは363.0千^m、同 13.8%減少、建築向けは488.9千^m、同 0.2%と22年の3期以来の減少。

内訳は、住宅向け(同13.0%)のみが増加、鉄道・電力向け(同 20.6%)、港湾・空港向け(同 12.9%)、道路向け(同 18.8%)、その他向け(同 5.9%)、官公需向け(同 8.9%)、非住宅向け(同 6.6%)など残り全て減少。

東北は1,721.3千^m、同33.0%の増加。このうち土木向けは925.4千^m、同40.3%、建築向け795.9千^m、同25.5%とともに増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同 2.7%)のみが減少。港湾・空港向け(同149.8%)、道路向け(同33.5%)、その他向け(同20.9%)、官公需向け(同14.7%)、住宅向け(同15.1%)、非住宅向け(同40.6%)など残り全て増加。

関東は5,166.4千^m、同0.2%と8期連続の増加。このうち土木向けは1,352.4千^m、同 6.2%の減少、建築向けが3,814.1千^m、同2.7%と増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同 32.2%)、道路向け(同 29.1%)、住宅向け(同 2.6%)が減少、港湾・空港向け(同43.2%)、その他向け(同9.4%)、官公需向け(同7.8%)、非住宅向け(同10.3%)などが増加。

中部は1,451.9千^m、同 11.7%と4期連続の減少。このうち土木向けは563.0千^m、同 19.6%の減少、建築向けも888.8千^m、同 5.8%とともに減少。

内訳は、鉄道・電力(同 66.4%)、港湾・空港向け(同 44.8%)、道路向け(同 5.4%)、その他向け(同 2.4%)、官公需向け(同 6.7%)、住宅向け(同 4.8%)、非住宅向け(同 6.6%)と全てが減少。

近畿は1,537.2千^m、同4.0%と6期連続の増加。このうち土木向けは610.2千^m、同11.8%の増加、建築向けは927.0千^m、同 0.5%の減少。

内訳は、港湾・空港向け(同 22.9%)、官公需向け(同 5.7%)、住宅向け(同 8.9%)が減少、鉄道・電力向け(同32.9%)、道路向け(同6.8%)、その他向け(同17.5%)、非住宅向け(同10.6%)などが増加。

中国は925.7千^m、同 4.9%と3期連続の減少。このうち土木向けは389.2千^m、同 7.6%と10期連続の減少、建築向けは536.5千^m、同 2.8%と22年2期以来の減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同6.8%)、港湾・空港向け(同8.6%)、官公需向け(同39.0%)が増加したものの、道路向け(同 12.0%)、その他向け(同 8.2%)、住宅向け(同 7.8%)、非住宅向け(同 15.5%)などが減少。

四国は681.1千^m、同11.4%と3期連続の増加。このうち土木向けは331.0千^m、同12.0%の増加、建築向けは350.1千^m、同10.8%とともに増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同 37.9%)、道路向け(同 7.9%)、住宅向け(同 6.0%)が減少したものの、港湾・空港向け(同95.4%)、その他向け(同14.9%)、官公需向け(同18.7%)、非住宅向け(同27.2%)などが増加。

九州は1,528.4千^m、同 1.8%と減少。このうち土木向けは558.3千^m、同 8.5%の減少、建築向けは970.1千^m、同2.6%と9期連続の増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同87.3%)、道路向け(同6.6%)、官公需向け(同32.5%)、住宅向け(同0.9%)などが増加したものの、港湾・空港向け(同 0.8%)、その他向け(同 19.5%)、非住宅向け(同 8.7%)などが減少。

沖縄は301.9千^m、同 16.1%と前期に引き続き減少。このうち土木向けは56.1千^m、同 13.1%の減少、建築向けも245.8千^m、同16.8%とともに前期に引き続き減少。

内訳は、道路向け(同22.6%)、非住宅向け(同16.8%)が増加したものの、鉄道・電力向け(同 78.6%)、港湾・空港向け(同 71.1%)、その他向け(同 4.4%)、官公需向け(同 48.6%)、住宅向け(同 9.9%)などが減少。

3．月別の動向

月別に出荷動向をみると、7月が4,811.5千^m、前年同月比2.9%の増加、8月が4,506.6千^m、同 0.6%の減少、9月が4,847.7千^m、同1.5%の増加と8月のみ減少となった。

このうち土木向けは、7月が1,728.3千^m、同 0.7%の減少、8月が1,635.0千^m、同 1.4%の減少、9月が1,785.4千^m、同1.4%と9月のみ増加となった。

建築向けは、7月が3,083.2千^m、同5.1%の増加、8月が2,871.7千^m、同 0.1%の減少、9月は3,062.3千^m、同1.5%の増加と8月のみ減少となった。

4．設備能力及び従業員数

9月末の全国のプラントの基数は1,801基で、前期末(24年6月末)より13基の減少、前年同期末(23年9月末)より55基減少した。月間生産能力は47,261千^m、前年同期比 3.1%の減少となった。

9月末の従業者数は、21,427人、前年同期末より689人(3.1%)減少となった。